

## 教材3 「A村村長選挙の選挙公報づくり」

「政治・選挙とくらしとのつながりを考えてみよう」

— 住みたくなるような“村”をつくろう —

A村(架空の村)の概況、人口・世帯、産業、基盤整備、村民所得・村財政等についての解説文を読んで、村の特徴や地域課題、政治的課題等を把握したうえでグループの代表が村長選挙に立候補するための政治政策(マニフェスト)を策定し、選挙公報として発表し合うという設定です。

課題について話し合う過程で生みだされるアイデア豊かな政策提案を通して、政治的判断力や政治・選挙への参加意欲を向上させることがねらいです。

### 1 教材のねらい等

参加者がグループを単位としてA村の村長候補になります。身近な問題から村全体の問題について自由に意見を出し合い、よりよい村にするための話し合いをします。村の住人として、自分達の考えた政策と他の候補者の政策を比較検討し、「村の将来を任せるのはどの候補者がよいのか」についてグループで話し合いをし、判断します。実際の選挙では、選挙ポスターの掲示や選挙カー等での選挙運動が行われますが、この教材では候補者の政策を住民に伝えるための「選挙公報」を作成します。その作業過程で、グループとしての意見をまとめます。

政策を立案し、「選挙公報」を作成するといっても難しく考えることはありません。参加者が日頃生活で不便を感じたり、不満に思ったりすることなどを思い出し、それらを改善する方法を考えてみる・・・そこから政治への参加がはじまり、政策につながっていきます。その政策を周りの人々にうまく伝えられるよう、目に見える形にすることが「選挙公報」を作成するということです。

これまでの政策や現実の政策にとらわれることなく、ブレインストーミングの要領で、自由な視点、自由な発想による村づくりの政策をかかげます。話し合いの基本ルールは、自由に思いつきを出すこと、たくさんの思いつきを出すこと、他の人の思いつきを批判しないこと、他の人の思いつきからも連想することです。

この教材では、あくまでも架空のA村のまちづくりについて話し合いをするので、実際の都道府県や市区町村の状況を参考にすることはかまいませんが、あくまでも課題に沿った形で「選挙公報」を作成します。

## 2 学習の進め方

### (1)全体の流れと所要時間

- |                                |             |
|--------------------------------|-------------|
| ・アイスブレイク                       | ( 10分)      |
| ・課題、内容、資料、進め方等の説明              | ( 15分)      |
| ・活動                            | ( 100分)     |
| 解説資料の読み取りと協議、マニフェストの策定、選挙公報の作成 |             |
| ・発表会                           | ( 30分)      |
| ・評価                            | ( 10分)      |
| ・学習のふりかえり、まとめ                  | ( 15分) 計3時間 |

### (2)準備する物

- ・資料 3-1「A村の現況」50頁
- ・ワークシート 3-1「選挙公報作成ノート」53頁
- ・ホワイトボード(記入用具、マグネット等) — 各グループに1枚
- ・模造紙(選挙公報) — 各グループに2枚
- ・台紙(模造紙の下に敷くもの) — 各グループに1枚
- ・付箋紙(縦横7.5cm程度 黄色、ピンク色、青色の3色) — グループ数分
- ・サインペン(中字用 黒色) — 人数分
- ・サインペン(太字用 黒色、赤色、青色の3色) — 各グループに1セット
- ・セロハンテープ — 各グループに1個
- ・よくできましたシール(付箋紙などで代用可) — 人数分
- ・感想文用紙

### 3 具体的な手順

#### (1)アイスブレイク(10分)

#### (2)課題、内容、資料、進め方等の説明(15分)

資料 3-1「A村の現況」、ワークシート 3-1「選挙公報作成ノート」を使って、分かりやすく短時間で説明します。

#### (3)活動(100分)

##### ①グループ分けと役割分担

なるべく所属団体、居住地域、職業、男女、年齢等がばらけるように、5～6人程度のグループを作ります。自己紹介の後で、グループでの進行係、記録係、発表者を決めます。

##### ②A村(架空の村)の現状把握

まず、各人がA村の現況(資料 3-1)を読んで、「概況」「人口・世帯」「産業」「基盤整備」「村民所得・村財政」等の分野別に問題点を抽出し、その解決策を考えます。それらは、続いて行なわれるグループ内での話し合いの土台となるので、自由な発想で、質より量を心がけるようにします。考えたことは、付箋紙に書き留めます。

##### ③分野別問題点・解決策、優先順位の発表と検討

各人が抽出した問題点や解決策を、発表し合い、効果や優先度などを検討してそれぞれに順位をつけ、グループとしての意見をまとめます。この作業は、KJ法(→10頁)の要領でアイデアや意見を図解していきます。完成したら、模造紙に貼りつけます(付箋紙が落ちないようにセロハンテープで固定します)。各人はグループの意見をワークシート 3-1「選挙公報作成ノート」にまとめ、記録係はホワイトボードに書き出します。

##### ④理想とするA村のイメージとそれを実現するための政策を立案

まとまった意見をもとに、グループとして重視していく分野、そうでない分野を

順位づけし、理想のA村のイメージを確定し、スローガンを作成します。

スローガンを実現する政策を立案していきますが、理想を実現するための政策が落ちていないか、力強い提案になっているかなどを吟味し、特色ある主張ができるようにします。

また、発表に備えて、自分達の政策に対する想定問答と、他の立候補者への質問を考えておきます。

#### ⑤政策を掲げた「選挙公報」原稿の作成

自分達の意見を伝えるためには、まず興味を持って見てもらうことが大事なので文字の大きさや配置などを工夫し、見やすく、わかりやすいものを作成します。

### (4)発表会(30分)

各グループの選挙公報をホワイトボードなどに張り出し、予め抽選等で決めておいた順番に従い、各グループの発表者が村長選挙の候補者となって政策を発表し、聴衆(他のグループ)からの質問に答えます。各候補者は発表時間を厳守します。

#### ①基本政策(目指す村づくりの方向)

グループが考える政策目標(スローガン等)、基本的な政策もしくは最も重視する政策を、現状と解決策とをあわせて発表します。

#### ②優先分野

各分野の順位づけに対する考え方、まとめた各分野の順位と当該分野を重視する理由を発表します。重視しない分野については、その影響も発表します。

#### ③自由発表

さらに、「特にPRしたい政策」あるいは「全く別のPRしたい政策」についての発表も認めます。

### (5)評価(10分)

参加者が、自分のグループを除いて最も優れていると思うグループの政策(選挙公報)に、「よくできましたシール」を貼りつけて順位を決めます。

### (6)ふりかえり、まとめ(15分)

研修をふりかえりながら、気づいたことの共有と共有事項の確認をして研修成果をまとめます。さらに、研修後の活かし方等を約束し合います。

## 4 役割

### ☆ファシリテーター(全体の指導)

参加者一人ひとりの思いや意見をうまく引き出しながら進めます。

- ・ 分かりやすいプレゼンテーションを心がけ、参加者が目的を十分に理解して取り組めるように配慮します。
- ・ 共感的、受容的な雰囲気をつくりながら、柔軟な姿勢で進めます。
- ・ 参加者が主体的に参画でき、参加者同士のコミュニケーションが図られるように気を配ります。

### ☆進行係(各グループ)

- ・ 参加者の意見がポイントから外れないように進めながら、できるだけ多くの意見を引き出します。
- ・ 特定の人意見だけで討議が進んでいくことがないようにします。
- ・ 自分の意見や結論を押しつけないように気をつけながら進めます。
- ・ 討議内容をまとめながら進め、予定時間内に終了できるようにします。
- ・ 適宜休憩を取ります。

### ☆発表者(候補者)

- ・ 発表したい事項をメモしながら、作業に参加します。
- ・ グループとしての主張や提案を強調し、アピールします。
- ・ 配分時間内で発表を終えられるように、発表内容をまとめておきます。

### ☆参加者

- ・ 思いつきや推測の意見でもよいので、積極的に意見を出すようにします。
- ・ 討議が円滑に進むように司会者に協力します。
- ・ 発表者以外のグループメンバーが、質疑の時間に発表者の意見の補足を行うこともできます。
- ・ 自分達のグループと他のグループの政策を比較し、疑問な点は積極的に質問します。

## ☆助言者

ファシリテーターの他に、各グループに次のような役割を担う複数の助言者(選挙管理委員会職員又は明るい選挙推進協議会員)を配置すると、より充実した研修が期待できます。

- ・自己紹介や役割分担がスムーズに進むよう助言します。
- ・参加者の積極的な関わりや協力で、グループ内の意識が向上するよう助言します。
- ・作業手順を理解し、完成へのイメージが描けるよう助言します。
- ・資料の読み取りと分析、深まりのある話し合いができるよう助言します。
- ・効果的な表現を工夫しながら作業をまとめ、時間内に発表準備を完了させるよう助言します。

## 5 研修の充実と応用

○演習内容を「選挙公報作成」の他に、「選挙公約(マニフェスト)作成」、「演説原稿作成」、「選挙ビラ作成」として研修を展開することもできます。

○実際の選挙で作成、使用された「選挙公報」や「選挙公報原稿用紙」等を示して、「選挙公報」に対する理解を深めるとともに、「選挙広報」との違いを理解してもらう機会にもなります。

○資料 3-1「A村の現況」を、参加者に事前に送付し、一読しておいてもらうようにすると、一層効果的な展開が期待できます。

○模造紙に貼り付けた付箋紙は、そのまま保存し、次回の研修でその成果を生かすことで、より完成度の高い研修を目指すことができます。

○ホワイトボードは、打ち合わせ時のメモに使いますが、時間等の都合で模造紙に清書できない状況になった場合には、そのまま「選挙公報(案)」として使えますし、カメラ等に収めて研修成果として持ち帰ることもできます。

○この教材は、各種選挙で投票を経験済みの成人を対象としていますが、青年等を対象とする研修では、はちまき・たすき姿で「立候補の演説」をさせたり、実際の「投票記載台」や「投票箱」等を使用することなどによって、本番同様の投票体験の場とすることもできます。

## 資料の補記修正等

### ○リアリティ

A村を、研修開催地の規模に合わせて“〇〇市”、“△△区”、“□□町”のように市区町村名を工夫したり、あるいは開催地に関わる資料を随所に挿入したりすると、より身近で具体的な話題が提示されることから、リアリティに富んだ政策論争や「選挙公報」の完成が期待できます。

### ○現況の設定項目

A村の現況についての設定項目(概況、人口・世帯、産業、基盤整備、村民所得・村財政、その他)の説明が、不足もしくは短くて使いにくい、あるいはA村の設定規模が開催市区町村の実態とかけ離れている、さらには、都市部の実情にはそぐわないなどという場合には、適宜、補記・修正してください。

その際に、政治・選挙に関する意識調査で用いられた以下の質問項目から、必要と思うものを選んで資料を作成することもできます。

「今回の選挙でどのような問題を考慮しましたか。いくつでもあげてください」

#### ○回答肢(回答数の多い順)

景気・雇用(64.3%)、年金問題(64.1)、医療・介護(59.8)、税金問題(36.5)、  
少子化対策(32.4)、教育問題(31.3)、環境問題(25.4)、財政再建(25.3)、  
所得格差(25.1)、物価(24.4)、政権のあり方(23.5)、行政改革(19.1)、  
政治資金問題(16.5)、中小企業対策(15.8)、災害対策(15.8)、地方分権(14.1)、  
防衛問題(12.6)、国際・外交問題(12.2)、治安対策(11.0)、農林漁業対策(9.6)、  
憲法問題(7.8)、土地・住宅問題(6.4)、考えなかった(1.7)

(第45回衆院選に関する意識調査 平成21年10月調査 明るい選挙推進協会)

### ○工夫

この他に、開催市区町村の特徴や地域事情、活動状況、研修日程等に応じた工夫を加え、研修参加者自らのアイデアでまちづくりをする興奮を味わわせ、さらには楽しみながら政治・選挙を論じ合う機会として設定してください。

## 資料 3-1 「A村の現況」

### 1 概況

A村は、面積約100平方km、耕地面積1,500ha、林野6,800ha、六甲田水系につながる渓谷や一部海岸線を含む変化に富んだ自然がある反面、平野部は農耕地にも恵まれている。名所としては、昔から村民の憩いの場となっている温泉「長生き湯」があり、また、最近発掘された三角山縄文遺跡があり、調査が進んでいる。

文化・スポーツについては、村内にある公立高校を中心にアーチェリーが盛んで、オリンピック出場者を輩出している。

### 2 人口・世帯

村の人口は1,475人。うち287人(19.5%)が65歳以上、15～64歳の生産年齢人口が965人(65.4%)、0～14歳の年少人口が223人(15.1%)となっている。農業離れに加え、雇用の場が少ないことや都会指向から、若者の流出が著しく、年少人口の減少傾向と老年人口の増加傾向が顕著となっている。世帯は、核家族世帯が48.7%を占め、単独世帯も18.5%となり、親子世帯が同居する世帯は32.7%となっている。

### 3 産業

村の主産業は稲作やだいこん、やまいも、銘柄のトマト「桃子」等の畑作や売り出し中の「あすなろ牛」があるが、経営規模は小さく、専業農家は17.5%、うち農業収入を主とする世帯(1種兼業)は26.4%にすぎない。また、沿岸漁業者もいるが現在、専業漁業世帯は皆無となっている。観光については、夏にハイキングや海水浴、釣り客等は訪れるが、産業といえるものとなっていない。最近、村の若者や有志によりホテルの里づくりやカブトムシの森づくりの取り組みが進みつつあり、遺跡発掘の動向も注目されている。

村の中心商店街も、市部郊外のスーパーマーケットや最近開通した国道バイパスの影響によりすっかり寂れ、国道沿にできた「道の駅」だけが唯一賑わっている。

役場や団体に勤務する以外の村民の多くは建設業に従事したり、誘致した工場で働いたりして生計をたてているが、不況のあおりで雇用が縮小し、最近では近郊の市部の商店、スーパーマーケットや流通、運搬等の従業員、パート等として通勤し生計を維持する世帯が多くなっている。

#### 4 基盤整備

村の基盤整備は、耕地区画の整備、用排水路の整備、土層改良など農業基盤が急速に改善されたが、農業経営を巡る諸情勢から、十分なメリットをもたらさず、負担金が重荷となっている。道路基盤については村道、農道等が整備され、また、国道バイパス開通により利便性が増したものの、産業基盤としては十分機能していない。逆に、バス路線の一部廃止等、村民の生活にはマイナスの側面もあり、小学校の統合や公共施設の運営難など課題が多い。下水道の普及率は20%程度と県平均の半分にも満たない。村の50周年記念事業として建設された多目的文化・スポーツ施設は、斬新な外観と優れた音響効果で評価は高いが、当初の目論見と異なり、利用が十分でなく、運営に窮している。

医療施設については、従前あった村の診療所が廃止されたため、不便を生じており、高齢者施設については最近、地元業者により老健施設が開所されたものの、待機者が多く、また、村社会福祉協議会運営のデイサービスセンターも、定員が少なく、村内のニーズを満たすに至っていない。

#### 5 村民所得・村財政

1人当たり村民所得は県平均251万9千円に比し、180万円と非常に低い水準にある。村内には目立った娯楽施設等もないため、若者のみならず村民の消費活動は隣接する市部におけるものが中心となっている。

また、村財政は年間予算約30億円となっているが、公債費比率(村財政における借金返済経費の占める割合)は25.0%(県平均17.1%)、経常収支比率(地方税、普通交付税など毎年度の経常的な収入である経常一般財源が、人件費、公債費などの義務的支出にどの程度充当されているかを示す指標)は92%(県平均87.8%)となっており、不測の事態に備える基金も底をつく状況にある。

このため、民政安定と活性化のためには、若者が定住できるような産業の振興と村の財政再建が課題となっているが、未だその打開策が見いだせない状況にある。こうした中、最近になって中央資本の最先端技術による産業廃棄物処理・処分施設立地の話が持ち上がり、建設受注や税収、雇用効果等が期待できることから、推進を望む村民は隣接町村と綱引きをしているが、反対者も多く、村としては態度を決めかね、進展をみていない。

## 6 その他

先に行われた参議院議員通常選挙では、村民の関心も薄く、村選管では懸命の啓発キャンペーンを行ったものの投票率は53.91%と、県内市町村でビリから7番目という結果であり、中でも20代の若者の投票率は22.8%と極端に低いものであった。

注：表記中用いた固有名詞は実在のものとは関係ありません。

資料提供：青森県選挙管理委員会

## ワークシート 3-1 「選挙公報作成ノート」

グループ名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

皆さん一人一人がA村の住人となって、それぞれの視点や発想による村づくりを考えます。そして、その発想をもとに村長選挙に立候補し、政策を主張するための選挙公報(原稿)を作成します。

### 1 A村の問題点

あなたが考えるA村の問題点や改善点について、分野ごとに記入してください。  
どんなに細かいものでもいいので思いついたら、記入しましょう。

【概況】

---

【人口・世帯】

---

【産業】

---

【基盤整備】

---

【村民所得・村財政】

---

【その他】

---

### 2 問題点の解決策

1で挙げた問題点や改善点について、具体的な解決策を書き出してください。

【概況】

---

【人口・世帯】

---

【産業】

---

【基盤整備】

---

【村民所得・村財政】

---

【その他】

---

### 3 理想とするA村のイメージ(スローガン等)

2で検討した問題点の解決策をもとに、あなたの考える理想のA村のイメージを描いてください。その際には、それぞれで検討した項目について順位をつけ、どのような項目を重視するのかを明確にしてください。

また、その姿を簡単に表現するような「スローガン」を考えてください。

### 4 政策

これまでの検討事項を基に、理想のA村にするための政策を立案してください。

#### 【選挙公報イメージ】

4でまとめた政策をよりわかりやすく伝えるような、選挙公報のイメージを考えてください。実際に「キーとなるフレーズ」や「図・イラスト」等を割り付けるなど、できるだけ具体的なイメージを提示してください。

#### 【グループ員(他のグループ)からの意見等】

話し合いを通してのグループ員(あるいは他のグループ)からの反応、自分の考えと同じ点や異なる点、疑問に思う点など、最終的に評価の参考となるような事項を整理してください。

☆ A 4判 2枚

☆ 配布するシートは、□内の説明文を消し、書き込めるようにしてください。